

## 令和7年度 授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	多古町立久賀小学校
-----	---------	-----	-----------

### 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○令和6年度の全国学力・学習状況調査では、「主体的・対話的で深い学び」「自ら考えること」「ICTを活用して表現することや学び合うこと」に関する質問調査において、本校は、肯定的な回答をした児童が、全国平均を下回っている。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

○教科の特性を生かして、「個別最適な学びの視点」と「協働的な学びの視点」をもって、ICTを効果的に活用すれば、児童が意欲的に学習に取り組めるようになり、自ら考え、表現し、互いに学び合う児童を育成することができるだろう。

### 3. 具体的な実践

- 全国学力・学習状況調査の結果分析の共有と、課題解決に向けた手立ての検討
- 教員のICT活用力を向上させる取り組み（活用実践研修、実践の取りまとめ等）
- 児童のICT活用力を向上させる取り組み（タイピング、プログラミング、情報モラル等）
- ICT活用アドバイザーとの連携
- 仮説検証を目的とした授業実践（国語科、算数科、生活科、音楽科、家庭科、体育科、特別支援）

### 4. 成果

- ICT活用の日常化をねらった実践を行ったことで、教員と児童のICT活用力が向上した。
- ICTを活用した実践を行ったことで、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」児童が増えた。
- ICTを活用して表現したり、学び合ったりすることに有用感を感じる児童が増えた。

#### ◆担当指導主事から

○多古町立久賀小学校では、学校の実態に即して、「個別最適な学び」「協働的な学び」の視点をもった実践が行われた。指導の個別化、学習の個性化を意識し、そのためにICTを利活用することや、1人1台端末の長所を生かすことを継続して実践していただきたい。